

日本都市計画学会関西支部 国際・交流委員会 主催
学生向け交流イベント

戦前長屋の街へタイムトラベル：大阪市大正区泉尾の街歩き

- ・日時：令和3年10月16日（土）13時30分～17時
- ・集合場所：JR大正駅改札口
- ・参加者：修士学生2名、学部学生5名 計 7名

内訳	京都大学大学院 修士1年	1名
	神戸大学大学院 修士2年	1名
	和歌山大学経済学部 3回生	2名
	関西大学環境都市工学部 4年	2名
	関西大学環境都市工学部 2年	1名

- ・委員参加者 大庭哲治（委員長）、栗山尚子（副委員長）、森田恭平、岡絵理子
- ・協力者 On:e Lab メンバー 平松孝介（大阪メトロ）、太田雅己（アルパック）、辻田拓司（大阪府）
- ・当日の進行

13:30 JR大正駅改札口に全員が集合、まずは歩いて民設地域拠点+シェアハウス開設に向けて、現在リノベ進行中の On:e Lab へ向かいます。大正通を西に渡り、アーケードのある三軒家中央商店街を進むと、三泉商店街に交わります。そこから少し下がった電気屋さんの2階、3階が On:e Lab です。まだ、リノベーション工事中ですが、このイベントの地域拠点会場として利用させていただきました。

2階に上がり、大庭先生の挨拶の後、自己紹介、今日のまちあるきの進め方を説明しました。そのツールを「まちあるき・まち攻略ゲーム」（関西大学住環境デザイン研究室 開発）と呼んでいます。

<まちあるき・まち攻略ゲーム>

- 1) 大学・男女を考慮して、知らないもの同士なるように2～3人の班にわかれます。学生の班が3つ、私たち委員のグループが1つ計4つの班分されました。
- 2) 各班に封筒がわたされます。そこには手のひらサイズのカードが8枚と、500円玉が入っています。カードにはそれぞれ指令が書かれており、指令をクリアする指令書のアイコンを切り取っていきます。指令の内容は、地元っぽい人と一緒に写真を撮ってこい！ ワクワクする土木構造物を探せ！ 地元っぽい食べ物を手に入れてこい！といったもの。
- 3) 14時15分に出発し、16時を目安に再集合ですが、全てクリアして戻ってくる順位も争います。
- 4) 班ごとに、指令にピッタリの写真をグーグルドライブにアップします。
- 5) 16時15分、平松さんの進行で発表会です。指令に従って見つけた場所の写真を見ながらなぜその写真を選んだかを説明し、それを聴きながら On:e Lab メンバーが採点しました。
- 6) 17時、委員会メンバー班も健闘しましたが、学生の神戸大学+関西大学班が一位をとり、まちあるきゲームは終了しました。



終了後、On:e Lab 屋上に移動し、指令に従って購入した地元っぽい食べ物を分け合っていました。



参加していただいた学生の方々の多くが、大正区に足を踏み入れたことがなく、初大正区体験でした。感想を伺ったところ、みなさん「楽しかった」「大正の人たちが温かかった」「自分の地元でもやってみたい」など、大正を知るだけでなく、まちあるきの手法も体験していただいたことで、次の活動につながる有意義な経験をしていただけたと感じています。

就職活動、資格試験など学生の皆さんには忙しい中参加していただき、感謝しています。ありがとうございました。（おわり）